



げんき広場

GENKI HIROBA

No. 74
令和2年2月発行

◎編集・発行 長崎県教育庁総務課 〒850-8570 長崎市尾上町3番1号 TEL095-894-3314 (ダイヤルイン)

長崎県教育委員会

検索



令和2年度から小学校で プログラミング教育が スタートします。

プログラミング教育は、子どもたちがパソコンを用いたプログラミング体験を通して、物事を筋道立てて考える論理的思考力や情報を適切に活用する情報活用能力をより一層身に付けるために導入されます。

人工知能(AI)がますます進化する未来社会への挑戦

家電や自動車など、私たちの生活を明るく豊かにする身の回りの多くの物にコンピュータが内蔵されています。これから人工知能(AI)がますます進化する社会において、AIに使われるのではなく、AIを使いこなすためには、どのような仕組みで道具が動いているかを知ることがとても重要です。

そこで、小学校段階においては、コンピュータの命令(プログラミング)はどのような考え方でつくられているのか、その基本を各教科等の学習を通して学びます。

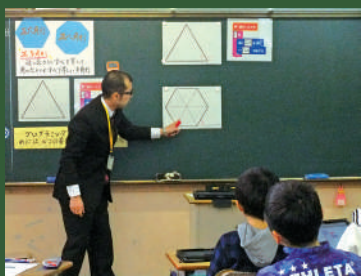
各小学校では、次年度の実施に向けて、いつ、どのような教科の、どんな場面でプログラミング教育を実施するか計画を立てているところです。どのような学習が行われようとしているかその一例を紹介します。



県内の先進的な取組例

5年生「算数」

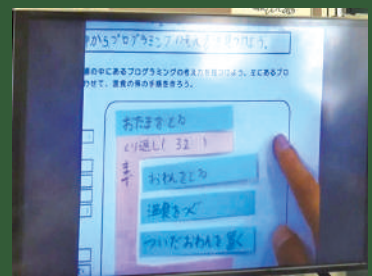
図形の学習で正三角形や正方形などをプログラミングにより作図し、正多角形の特徴を理解させるとともに、コンピュータを用いた作図の仕方を学びました。(時津町)



▲時津町立鳴鼓小学校における実践

5年生「総合的な学習の時間」

情報に関する単元の中で、情報技術が果たしている役割や情報技術の活用の仕方を学びながら、プログラミングの基本にも触れました。(島原市)



▲島原市立第一小学校における実践

6年生「総合的な学習の時間」

町内5校の6年生全15学級の児童を対象に、友達と協働しながらタブレット端末を操作し、車型ロボットの自動運転に挑戦する学習をしました。(長与町)



長与町立高田小学校における実践▶



第1回 長崎県中学生

ビブリオバトル大会の結果について



優勝『科学でツッコむ日本の歴史』……
(平林 純・集英社)

…… 発表者 **久間 晴心さん**
(大村市立玖島中学校3年)

準優勝『ハルネズミの願い』……
(トーン・テレヘン・作/長山 さき・訳・新潮社)

…… 発表者 **中野 未彩さん**
(時津町立時津中学校2年)

令和元年12月26日(木)、大村市にあるミライon図書館にて、第1回長崎県中学生ビブリオバトル大会を開催しました。発表者は紹介する本の魅力を熱く語り、会場とのやりとりをしながら130名を超える参観者を本の世界へ誘いました。優勝した久間晴心さんは3月29日(日)東京都で開催される全国大会に長崎県代表として出場予定です。



【開会式の様子】

他に大会で紹介された本

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------------|
| 『コンビニ人間』
(村田 沙耶香 / 文藝春秋) | 『ルビンの壺が割れた』
(宿野 かほる / 新潮社) |
| 『記憶屋』
(織守 きょうや / 角川ホラー文庫) | 『僕はロボットごしの君に恋をする』
(山田 悠介 / 河出書房新社) |
| 『李陵・山月記』
(中島 敦 / 新潮文庫) | 『時の番人』
(ミッチ・アルバム / 静山社) |
| 『望み』
(栗井 脩介 / 角川書店) | 『蜂蜜と遠雷』
(恩田 陸 / 幻冬舎) |
| 『新版 古事記物語』
(鈴木 三重吉 / 角川ソフィア文庫) | 『アスリート』
(あさの あつこ / 中央公論新社) |
| 『ドラゴンラージャ』
(イ・ヨンド / 岩崎書店) | 『プシュケの涙』
(柴村 仁 / 講談社) |



【決勝に進出した4名の発表者】

「長崎県文化部活動の在り方に関するガイドライン」を策定しました!



本ガイドラインは、生徒にとって望ましい文化部活動の実施環境を構築するという観点から、県教育委員会や市町教育委員会、学校、関係団体が取り組む内容を示しています。

その中で、文化部活動が生徒と教職員にとって、過度な負担とならないよう、休養日、活動時間を設定しています。

いかなる部活動においても、長時間の活動は、精神的・体力的な負担を伴うものであり、生徒のバランスのとれた生活や成長に配慮し、一定の休息をとりながら進められるべきであると考えています。

また、教職員の超過勤務の一因である部活動指導について、学校における働き方改革の観点から適正な勤務時間を設定する必要があり、運動部と同様の休養日や活動時間の基準を設定しています。

	休 養 日	活 動 時 間 (1日)
中学校	週2日以上(平日1日、土・日曜日1日以上) ※家庭の日(毎月第3日曜日)は部活動を実施しない日(ノ一部活動デー)と位置づける。	平 日: 2時間程度 休業日: 3時間程度
高等学校	週1日以上(原則、月に2回以上は土・日曜日に設定) ※家庭の日(毎月第3日曜日)は活動実施に配慮する。	原則 平 日: 2時間程度 休業日: 3時間程度

※休養日とは、各部が「活動をしない日」として設定した日、ノ一部活動デーとは、学校で「全ての部活動が一斉に活動しない日」のことです。
※活動時間には、練習会場への移動、準備、片付け、大会参加時の競技間の休憩、見学等は含みません。

長崎県文化部活動の在り方に関するガイドライン → 長崎県教育庁学芸文化課HP
<https://www.pref.nagasaki.jp/bunrui/kanko-kyoiku-bunka/bunka-geijutsu/bunnkabukatu/>

問い合わせ先：県教育庁学芸文化課 TEL095-894-3385

長崎県ふるさとの未来を担う若者議会に 県内の高校生が参加しました

令和元年12月17日(火)、県議会議場等において「長崎県ふるさとの未来を担う若者議会」が開催されました。この若者議会は、ふるさとの未来を担う若者を対象に、主権者としての政治参加意識の醸成・向上を図ることを目的として、県議会が主催しており、県内10校から高校生40名が参加しました。



《参加校》 西陵高校、諫早東高校、西彼農業高校、島原商業高校、
吉岐商業高校、平戸高校、瓊浦高校、聖和女子学院高校、
鎮西学院高校、諫早特別支援学校



若者議会では、聖和女子学院高等学校のおんづか隠塚さんが議長となり、各学校代表者から県政への政策提言の発表や、県議会常任委員会に分かれての県議会議員との意見交換が行われ、高校生が普段から抱えている地域の課題や疑問、その対策などについて貴重なやり取りが行われました。



最後に、参加者を代表して西陵高等学校の野中さんが、今後の政治参加に向けた意見表明を行い、高校生議員の全会一致(起立採決)で可決されました。



県議会では、今回、4年ぶりの開催となりましたが、次年度以降も継続して開催していくこととしています。

お問い合わせ／長崎県議会事務局総務課／TEL:095-894-3622

諫早高校未来人財セミナー (県内企業説明会)



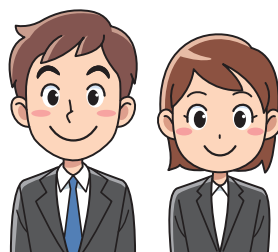
生徒の職業に対する理解を深めるとともに県内企業の魅力を知り、ふるさと長崎への思いを育てること等を目的として、卒業生のほとんどが進学する県内の普通科高校では初めて開催されました!

<日時>
令和元年
10月30日(水)

<参加者>
1年生全員277名
県内企業22社

未来人財セミナー開催後の生徒の感想(抜粋)

- 長崎県には仕事がないのではなくて、自分たちが長崎にある仕事を知らないだけだということが分かりました。
- 自分の働きたい会社は都会にしかないと思っていましたが、長崎の会社でも自分のイメージと似た会社があり、そこで働きたいと思いました。



ご存知ですか？

学校の中のSDGsとESD

今日から取り組もう

持続可能な開発目標(SDGs)

「持続可能な開発」とは、将来の世代のために、いまある資源や環境を壊さずにより良い状態にすることです。この実現に向けて、貧困や飢餓、環境問題などの具体的な解決のための17の目標が掲げられています。これを、持続可能な開発目標(SDGs※1)といいます。

新学習指導要領でも、この持続可能な社会づくりの担い手を育む教育=ESD※2が取り上げられています。県内では、対馬高校、国見高校、佐世保南高校がESDの推進拠点「ユネスコスクール」として、実践に取り組んでいます。



※1 SDGs(Sustainable Development Goals) ※2 ESD(Education for Sustainable Development)

14 海の豊かさを守ろう **17** パートナーシップで目標を達成しよう

長崎県立対馬高等学校の実践
(H27県内初のユネスコスクール認定校)

令和元年6月8日(土)・9日(日)の第7回日韓海岸清掃フェスタin対馬に、ユネスコスクール部や国際文化交流科(コース)の生徒を中心に75名の生徒が参加し、韓国の中高生との交流や地元の方たちと協力して清掃活動を行いました。SDGsの目標「14」や「17」と関連した実践です。

身近にできるSDGs

2 飢餓をゼロに **3** すべての人に健康と福祉を

給食を残さず食べているよ！ **週に1回親子で体操！**

10 人や国の不平等をなくそう **12** つくる責任 つかう責任

できることから始めてみよう！

障害をもつ友達と支え合っているよ！ **リサイクルして資源を大切にしているよ！**

SDGsの推進のためには、現代社会における様々な地球規模の問題を、自らの問題として主体的に捉え、身近なところからできることに取り組んでいくことが大切です。地域やご家庭でも、SDGsを意識した実践にチャレンジしてみましょう。長崎県では、学校におけるESDのより一層の充実を図りつつ、SDGsの達成に向けた取組を推進してまいります。

(参考資料「ユネスコスクールで目指すSDGs 持続可能な開発のための教育」文部科学省)



★中高生のみなさんへ★ SNS相談窓口



「スクールネット@伝えんば長崎」について

県教育委員会では、中高生を対象に、SNS相談窓口を開設しています。これは、LINEやWEBサイトから投稿してもらった、いじめや不登校などの悩みについて、学校や関係機関と連携しながら、迅速・ていねいに対応するものです。右のQRコードから事前にLINEの友だち登録や、お気に入りに登録しておく、いざというときにいつでも相談できます。



スクールネット@伝えんば長崎



LINEの友だち登録は下のQRコードから



WEBへのアクセスは下のQRコードから



しおさいセミナーを開催します！

発達障害のある方が暮らしやすい地域づくりについて考えてみませんか

無料

日時 令和2年3月20日(金・祝) 13時～16時(12時～開場)

内容 講演: ライフステージに応じた必要な支援とは・
体験談&対談: ペアレントメンター※として、教職員として、有識者として・
それぞれの分野でご活躍の皆様にお話しをいただきます。

場所 佐世保市体育文化館 コミュニティセンターホール

※ペアレントメンター: 発達障害のあるお子さんの養育経験がある保護者で、研修等を経て認定を受けた者。

しおさい 発達障害者支援センター「しおさい」は、発達障害に関する相談支援・発達支援就労支援や普及啓発及び研修会を行っています。



問合せ 長崎県発達障害者支援センター「しおさい」(長崎県立子ども医療福祉センター内) ☎0957-22-1802
長崎県子ども家庭課 ☎095-895-2445
WEB 長崎県・しおさいセミナー **検索**